

八代市立博物館未来の森ミュージアム

友の会だより

2024
Vol.2

秋

p.1 秋を感じる館蔵品紹介 《秋山遊鹿図屏風》

p.2-3 休館中の博物館活動 第1常設展示室の資料を撤収しました！

p.4 博物館出張企画展示「昔のくらしと道具展」@お祭りでんでん館／図録販売のご案内

秋を感じる 館蔵品紹介

《秋山遊鹿図屏風》

しゅうざん ゆうろく ず びょう ぶ
かじやまきゆうがく
梶山九嶽筆 江戸時代末期～明治時代(19世紀)

カラーは
こちらから



左隻



本図は、秋の山で戯れる鹿を描いた屏風。作者・梶山九嶽は佐賀関(現大分市)出身の絵師。矢野良勝(熊本藩御用絵師)の養子(のち離別)だった梶山良恭の養子となり、のち京都に出て岸派を学びました。

左隻(写真上)には赤く色づいた紅葉と雌雄の鹿、右隻(写真下)には満月が秋草と1頭の鹿を照らす様子が描かれています。秋と鹿といえば、百人一首の和歌「奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の 声聞く時ぞ秋はかなしき」のイメージから定番の組み合わせとして、画題や工芸品のデザインによく用いられてきました。本図の鹿たちもどこか寂寥感を漂わせ、左隻の雄鹿からは和歌に詠まれるような物寂しい鳴声が聞こえてくるようです。

さて、本図は鹿の丁寧な描写が見どころで、背後から見た鹿の姿や角の質感、足先の細部まで、リアルな描写が目を引きまします。しかし1か所だけ、おかしい点が…。それは鹿の毛色と模様です。鹿は5～6月に夏毛に、9～10月に冬毛に換毛します。夏毛の特徴は明るい茶色に白い斑点(鹿の子模様)がある点です。冬毛になると白い斑点は消え、毛はこげ茶単色になります。現在だと9～10月はまだまだ残暑厳しい時期ですが、本図の紅葉は真っ赤に染まっているので、きっと鹿も冬毛に換毛しているはずなのですが、背中には白い斑点模様が…。

作者が鹿を写生した時期が夏だったのか、はたまた手本とした絵がそうであったのか、それとも敢えてのことなのか、ついつい勝手な想像を巡らせてしまいます。

右隻



休館中の博物館活動

第1常設展示室の資料を撤収しました！

周知のとおり当館は改修工事のため7月1日より休館しております。前号では改修工事に向けた準備の一環として収蔵庫整理などの様子を紹介しましたが、今号では第1常設展示室の農具コーナー撤収作業の様子を紹介します。

Before



当館の農具コーナーには八代市内で使用されていた米作りの道具を常設展示しています。米作りの道具は、小学校の社会科見学などで、白黒テレビや羽釜といった昔の道具とともに、多くの子どもたちの学習材料として活躍してきました。

After



資料を傷つけないよう注意しながら、ひとつひとつ慎重に動かします。



↑ 犁や馬鍬の撤収
← 手押しガンツメの撤収



←馬鍬や犁の撤収

↓展示台から取り外された農具たち
(鍬、みの、千歯扱きなど)



撤収した農具は
収蔵庫に収納します



収蔵庫に収まった農具



再開館後にまた
活躍してもらいます！

他のコーナーも
このとおり！



農具以外の展示品も無事に撤収を終え、ケースは空っぽになりました。いつも私たちの目と心を
楽しませてくれた博物館資料たちは、しばらくの間、収蔵庫の中でお休みです。

博物館出張企画展示

昔のくらしと道具展開催中!

10月4日まで

お祭りでんでん館伝承ルームにて「昔のくらしと道具展」開催中。昭和半ば頃まで使われていた生活道具を29点展示し、電気・ガス・水道が当たり前ではなかった頃のくらしについて紹介しています。

米作りの農具
もあります



ガンツメ



羽釜や石臼など

展示の内容を
ご紹介します!



かさ

みの

張り板や
昔のアイロンなど



なつかしいな~



蚊帳

石油ランプや
手押しポンプなど



体験講座を開催しました

9月23日(月・祝)には実際に昔のくらしの道具に触れる体験講座を開催。担い棒を使った水運びと竿秤を使った計量を体験した後、牛乳パックとストローで竹とんぼ作りを行いました。



竿秤で重さを量っている様子

会期:2024年10月4日(金)まで

時間:平日のみ9時~16時

※お祭りでんでん館休館日は閉場

会場:お祭りでんでん館伝承ルーム

Information

博物館発行図録を市役所本庁売店やお祭りでんでん館にて販売中



「八代城主・加藤正方の遺産」「写真家・麦島勝の世界」等、売れます!



休館中も博物館発行図録をお買い求めいただけるように、図録7冊を厳選し、市役所本庁売店での委託販売を始めました。売店入口の書棚に見本を置いていますので、市役所に行かれた際は是非立ち寄ってご覧ください。また、おとなりの「でんでん館」でも妙見祭関係の図録を中心に販売を開始しました。こちらも是非ご利用ください。

販売中の図録は当館ホームページにてご確認いただけます。その他ご不明な点がございましたら、博物館までお問合せください。

【問合せ先】八代市立博物館 ☎0965-34-5555

博物館 HP
QRコード→



発行/八代市立博物館友の会 発行日/令和6年9月30日
〒866-0863 熊本県八代市西松江城町12-35
TEL 0965-34-5555 FAX 0965-33-9200

★右のQRコードから
本誌カラー版をご覧
いただけます→→

